



○明るく元気な子 ○よく考える子 ○ねばり強い子 ○心のゆたかな子

梅田小だより

<http://www.ota-school.ed.jp/umeda-es/>

第377号

令和2年4月6日
大田区立梅田小学校
校長 甲斐 裕子

校門が1年生を待っている 校門が全校児童の登校を待っている

校長 甲斐 裕子



ご入学、ご進級おめでとうございます。

令和2年度は、桜が舞い散る中でのスタートとなりました。お子様一人一人が生き生きとした学校生活を送ることができるよう、教職員一同、一生懸命取り組んでまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

標題の「校門が1年生を待っている」は、馬込文士村大桜まつりの俳句大会で実行委員長賞をいただいた、本校の5年生男子児童の俳句です。昨今の状況において、この俳句は、本当に切実な願いとなっています。

さて、昨年度末は、「新型コロナウイルス感染症拡大防止対策」として、3月には臨時休業という措置となりました。新年度からは、通常の学校再開ができると期待しておりましたが、残念ながら、東京都の状況は更に深刻なものとなっております。そこで、大田区では、臨時休業ただし、“分散して登校する”機会を設定することになりました。同じクラスの子どもでも、登下校をずらし、教室には10名前後以内の人数で健康観察や家庭学習の状況を確認するというものです。(詳しくは、別紙配布「新型コロナウイルス感染症に係る新学学期の対応について」をご覧ください。)

日本中、世界中が前代未聞の大変な事態となりました。日常の当たり前の生活が、そして日々の楽しいこと・幸せなことが少しずつ奪われていっています。心配、不安、悲しみ等々…、胸が痛くなる日々となりました。

そのような中で、自分も周りの人も、これ以上感染者を増やさず、様々な事を気遣いながら、前向きに生きていかななくてはなりません。今こそ、「自分の心と体は自分で守る」「周りの状況を考えて行動する」「ピンチがチャンスの発想の転換ができる」という3つの力を身に付ける時ととらえ、子どもたちに言葉かけしていきたいと思えます。

学校は、子どもたち一人一人の安全と健康を一番に考え、心に寄り添い、学力・体力の維持向上に努めるべく、状況に応じた最善の方法を考え、実践してまいります。

4月24日(金)以降の学校対応及び学校行事につきましては、後日お伝えいたします。

なお、3月中旬にホームページにアップいたしました「令和2年度 学校行事予定」は大幅に変更となる予定ですのでアップを取り下げました。運動会については、2学期に実施する予定で考えています。

今後、状況により学校の対応を変更していくこともあるかと思いますが、緊急連絡メール、ホームページ等でお知らせいたしますので、こまめにご確認していただけますよう、よろしくお願いいたします。

【教室配置】

1F

2F

3F

